● 読書感想文コンクール 小学校 1･2･3 学年 の部●

入選

中村　有希（なかむら　ゆき） 由木中央小 ２年生

作品名:「ともだちはなきむしな子いぬ」を読んで
図　書:ともだちはなきむしなこいぬ

わたしは犬が大すきです。この本は、レオンという小さな犬と、かいぬしの小さな女の子なごみちゃんの話です。さいしょなごみちゃんはレオンをかわいがりませんでしたが、さいごにはとてもなかよくなりました。

わたしの心にのこったばめんは三つあります。一つ目は、なごみちゃんがくさそうなかおでレオンのうんちをとるところです。二つ目は、レオンがゆきを見て、ササミチップがふっていると思っているところです。三つ目は、なごみちゃんをまもるために大きな犬にたちむかうところです。

わたしも「さくら」という小さな犬をかっています。さんぽのとき、くさいうんちをとるのでなごみちゃんの気もちがよく分かります。

だいこうぶつのササミチップとゆきをまちがえるなんて、くいしんぼうだと思います。うちのさくらそっくりです。ダメ犬だなと思いました。

そんなレオンがなごみちゃんをまもるために、きばをむいてうなっている大きな犬にたちむかうばめんは、ドキドキしました。大声を出して「がんばれレオン」とおうえんしました。なごみちゃんをぶじたすけたときは、ほっとしました。うちのさくらも、なにかあったときにはたすけてくれるのかなあと思いました。

わたしはこの本を読んで、もっと犬のさくらをたいせつにしようと思いました。わたしは、犬が大すきですがさくらとあまりなかよくありません。でも、お出かけしてかえってくると、さくらはしっぽをバタバタふってよろこんでくれます。しっかりせわをして、かわいがってあげればなごみちゃんとレオンみたいになかよしになれるかなと思いました。